

ナルニア国物語

第2章カスピアン王子の角笛

2008(平成20)年5月13日鑑賞(試写会・梅田ピカデリー)

★★★



第1章

シリーズものからコミックの映画化まで

監督・製作・脚本＝アンドリュー・アダムソン／原作＝C.S. ルイス『カスピアン王子のつ
のぶえ』(岩波書店刊)／出演＝ウィリアム・モーズリー／アナ・ポップルウェル／スキャ
ンダー・ケインズ／ジョージ・ヘンリー／ベン・バーンズ／セルジオ・カステリット／ヴ
ィンセント・グラス／声の出演＝リアム・ニーソン (ウォルト ディズニー スタジオ
モーション ピクチャーズ ジャパン配給/2008年アメリカ映画/150分)

……興行収入約850億円の大ヒットとなった「第1章」に続いて、遂に「第2章」が登場！ ナルニア国の平和と繁栄を奪ったのは一体誰……？ あのアスランは、今どこで何を……？ 第2章のキーマンとなるカスピアン王子が吹く角笛によって、再びナルニア国に戻ったペベンシー4兄妹が見たものは……？ お子様連れには最適のファンタジー巨編だが、60歳間近の私には少し飽きてきた感も……？

◆ C.S. ルイス原作の『ナルニア国物語』については、「第1章ライオンと魔女」の評論で紹介した(『シネマルーム9』12頁参照)。ピーター(ウィリアム・モーズリー)、スーザン(アナ・ポップルウェル)、エドモンド(スキャンダー・ケインズ)、ルーシー(ジョージ・ヘンリー)という4兄妹のキャラやナルニア国のキーパーソン(?)である「白い魔女」と「アスラン」についても詳しく紹介したから、ここではくり返さない。

第1章は約850億円の興行収入をあげたというからすごい。そして『ハリー・ポッター』や『ロード・オブ・ザ・リング』シリーズと同じく、儲かるシリーズはトコトン行くのが最近ハリウッド流。そこで、「第2章カスピアン王子の角笛」が満を持して登場！

◆ 第2章のキーマンは、イギリス生まれのハンサムボーイ(?)ベン・バーンズ演ずるカスピアン。彼はナルニア国を滅ぼしたテルマール人の王子だが、権勢をふるう先王の弟ミラース(セルジオ・カステリット)に男子が誕生した今、無用かつ危険な

存在となったため、暗殺のターゲットに。なるほど、よくある話だ。

コルネリウス博士（ヴィンセント・グラス）によって城内から脱出したカスピアン王子が手に持つのは、本当の危険が迫った時に使うようにと言われた角笛。追っ手の手にかかろうとしたカスピアン王子は、逃げ込んだ森の中で、1度は絶滅したはずのナルニア人に助けられたが、遂に角笛を吹かざるをえない状況に。その角笛の音を聴いたのは、今はロンドンのまちに戻り、時々ナルニア国のことを思い出しているペベンシー4兄妹。

そんな導入部が終わった後、4兄妹の目の前に現れた風景は……？

◆ この手のシリーズものには、次々と新キャラクターの登場が必要。第2章のメインはカスピアン王子と悪玉のミラースだが、それ以外の新キャラはナルニア人の小人戦士やネズミの戦士たち……？

また、『ロード・オブ・ザ・リング』と同様、戦闘シーンはどんどん巨大化していくもの。第2章におけるテルマール人の軍隊の威容は……？ そんな巨大な軍勢力の前に、4兄妹+カスピアン王子率いるナルニア人たちは風前の灯だが、「神風」のように突如そこに登場する援軍は……？ 一瞬、『ロード・オブ・ザ・リング』と錯覚するようなシーンが登場するから、要注意！

◆ ペベンシー4兄妹がナルニア国に現れ、白い魔女を打ち破った第1章は、ちょうどナルニア暦1000年の時。他方、カスピアン王子が暴君ミラースから逃れ、その角笛によって4兄妹が再びナルニア国に戻った第2章は、ナルニア暦2303年。

原作によれば、第3章は『朝びらき丸 東の海へ』で、朝びらき丸に乗ったカスピアン10世らが世界の果てを目指す大航海に出かけていく物語らしい。そして、それは2306年だから、第3章は第2章の直後。すると、カスピアン王子は第3章にも再び登場……？ もちろん4兄妹の登場は不可欠だが、ナルニア暦で数年であれば、4兄妹はロンドンからナルニア国へトンボ帰りしなければ……。そんな第3章の登場は、さていつ頃……？

子供たちは指折り数えてその日を待たなければ……。

2008(平成20)年5月16日記